

◎天領病院健康教室の開催

8月25日に第1回天領病院健康教室を開催しました。今回は、リハビリテーション科の松永幸浩理学療法士長による「腰痛予防体操」というテーマで、15名の方に参加頂きました。腰痛症の要因に始まり、個人に合わせた無理のない腰痛予防体操の実技等を行いました。腰痛症の正しい理解と、予防のきっかけになったのではないかと思います。これからも、定期的に開催を企画したいと考えております。



◎第8回社会保険大牟田天領病院地域医療連携懇親会の案内

今年で8回目になります社会保険大牟田天領病院地域医療連携懇親会を開催致します。昨年は、有明地区の医療機関等から約250名の方々にご参加頂きました。今回も、よろしくお願い申し上げます。案内は、8月下旬に郵送しておりますが、何かありましたら地域医療連携室までご連絡ください。(写真は第7回のもので)



◎第14回社会保険大牟田天領病院内学術集会の案内

- 日時 平成28年11月26日(土曜) 13:30~
- 場所 デイケアセンター 2階 多目的ホール
- 内容 一般演題発表、特別講演等
(写真は第13回のもので)



編集後記

朝夕涼しくなり秋の気配が感じられるようになった今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。これからますます冷え込んでまいりますので、風邪などひかぬよう過ごしてください。そして少し気が早いですが、インフルエンザが流行る季節が近づいております。手洗い・うがい、ワクチン接種など、まずは出来る範囲での予防を行っていきましょう。
では、次回をお楽しみに!!

【ペンネーム I. M】

交通アクセス

- JR鹿児島本線大牟田駅下車・・・徒歩20分
- 西鉄天神大牟田線大牟田駅下車・・・徒歩20分
- 九州自動車道南関ICより自動車で・・・25分
- 西鉄バス大牟田駅前バス停乗車
天領校前下車(行先番号2番)・・・下車徒歩3分
天領町1丁目下車(行先番号4番)・・・下車徒歩0分



- 診療受付時間 月曜～金曜日/ 8:30～11:30 (診療開始 8:45～)
13:00～16:30 (診療開始 14:00～)
土曜日/ 8:30～11:00 (診療開始 8:45～)
- 休診日 日曜日、祝祭日、年末年始(12/30～1/3)
- 面会時間 平日・土日祝祭日 11時～20時まで

voice 当院に対してご希望やご意見がございましたら職員にお気軽にお申し付けください。また、ご意見箱も是非ご利用ください。

一般財団法人 福岡県社会保険医療協会
社会保険 大牟田天領病院
発行: 広報委員会 地域医療連携室

〒836-8566 福岡県大牟田市天領町1丁目100番地
TEL 0944-54-8482 FAX 0944-52-2351
電子メール: somu@omutatenryo-hp.jp ホームページ: http://omutatenryo-hp.jp/

天領医療連携だより

Ohmuta Tenryo Hospital 2016.9



医療理念

- 一、患者中心の医療
- 二、医療の質の向上
- 三、地域社会にあった手づくりの医療
- 四、安心と信頼を持たれる病院づくり
- 五、経営の安定と職員満足度の向上

基本方針

- 一、地域の病院、診療所および介護施設と連携し、急性期医療を担当する中核病院として地域医療に貢献する。
- 二、患者さんに安心とつろぎを与える医療と介護を提供する。
- 三、医療水準向上のため職員の教育および臨床研修を充実する。
- 四、経営基盤を安定させる。

◎外科・消化器外科の紹介 | News

消化器外科部長 松村富二夫

外科は柴田、松村の2名で一般外科、消化器外科、乳腺外科領域の診断、治療に従事しております。逆流性食道炎や胃十二指腸潰瘍、胆石症、大腸憩室炎、そけいヘルニアや痔核などの良性疾患のみならず悪性疾患の診療にも携わっております。

悪性腫瘍に関しては、ガイドラインに準拠するものご本人やご家族にわかりやすい説明を心がけ、同意を得たうえでその患者さんにあった安全で確実な手術、治療を実施しています。また、開腹手術後に専門的研修を受講したスタッフによるがんリハビリテーションを行い、早期の自宅退院を目指しています。希望があれば、期間を限定したうえで同じ敷地内の地域包括ケア病棟に移り術後の療養を行うことも可能です。

また、手術後の補助化学療法及び切除不能の癌に関する通院や入院による抗がん剤の治療や、緩和治療を行ない何よりも病む人の気持ちを大切にしたいと考えています。



外科部長 柴田雄司

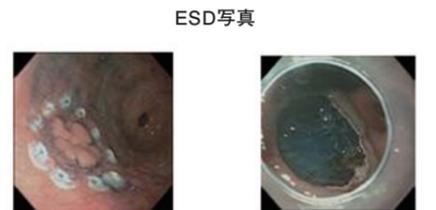
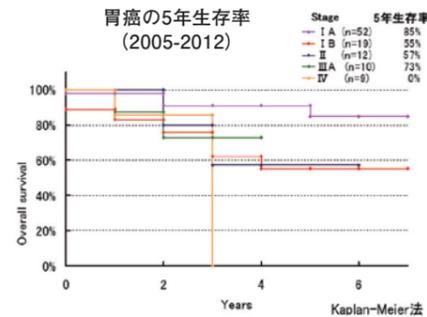
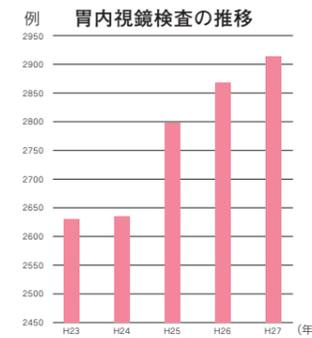
- ・日本外科学会専門医
- ・検診マンモグラフィ読影認定医
- ・日本消化器外科学会
- ・日本食道学会
- ・日本臓器学会
- ・臨床研修指導医
- ・日本癌治療学会がん治療認定医



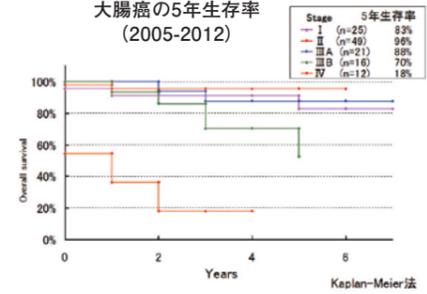
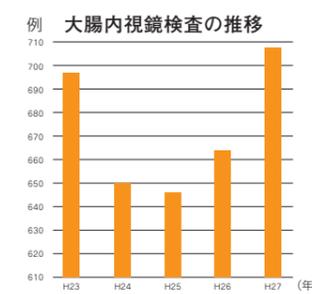
消化器外科部長 松村富二夫

- ・日本外科学会専門医、指導医
- ・日本消化器外科学会専門医、指導医
- ・日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
- ・日本消化管学会専門医、暫定指導医
- ・日本消化器がん外科治療認定医
- ・日本消化器病学会専門医
- ・日本肝臓学会専門医
- ・日本感染症学会 ICD
- ・日本癌治療学会がん治療認定医
- ・麻酔科標榜医
- ・検診マンモグラフィ読影認定医

<学会等認定施設の指定状況>
日本外科学会専門医制度指定施設 日本がん治療認定機構認定施設
日本消化器外科学会関連施設 日本消化管学会胃腸科指導施設
日本消化器病学会関連施設



ESD写真



腹腔鏡下大腸切除術

◎平成28年熊本地震ボランティア活動へ参加

看護師 木下美佐子

“平成28年熊本地震”から約1ヶ月、5月7日と5月14日の2日間、避難所巡回ボランティアに行きました。

熊大病院代謝内科医局の呼びかけにより、各地の糖尿病専門医師と糖尿病療養指導士でチーム編成し益城町・西原村・南阿蘇・宇城市の避難所を訪問しました。血糖測定や血圧測定の健康チェック、療養指導の医療ボランティアです。当院からは、後藤秀生(医師)・北原芽久美(管理栄養士)・野口暢子(管理栄養士)・平山史朗(理学療法士)・中園幸子(看護師)・大平辰雄(看護師)と共に参加しました。

平凡な日常を送っている私たちが目にした被災地の光景は現実とは思えない程でした。倒壊した住宅、傾いたビル、地割れした地面、波打ったアスファルト道路、避難者用のテント群、行きかう自衛隊のトラックを眺めテレビの中に放り込まれたような感覚でした。当時の避難者数は約3000人“はたして我々が役に立てるのか?”不安になりました。

既に赤十字やDMATの支援で緊急事態は脱し、次は長期化する避難所生活による問題が生じる時期でした。食糧は支援物資による供給で、日持ちするカップ麺やお菓子等に集中し炭水化物と塩分の過剰摂取傾向で、糖尿病でない方も高血糖や高血圧・体重増加が目立ちました。精神的な問題もあります。震災のショックから立ち直れていない状態で倒壊した自宅の片づけや将来の不安。他人と一緒に生活することのストレスなどです。涙ながらに語られる辛い思いに耳を傾ける場面が健康・療養指導よりも多かったボランティア活動になりました。一日も早い復興を願ってやみません。



“役に立てたか?”分かりませんが遠方からの片付けボランティアの方々が「出来ることを出来るだけしにきました。」と笑顔で語っていたことを思い出して「我々に出来る療養指導を出来るだけした。」と今は思っています。

◎本の紹介 | News

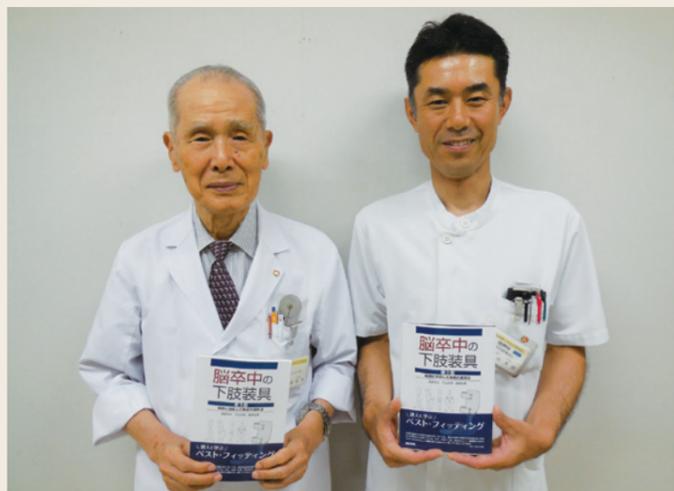
「脳卒中の下肢装具～病態に対応した装具の選択法～第3版」

リハビリテーション科 渡邊英夫(医師)、平山史朗(理学療法士)

上記タイトルの単行本を本年3月医学書院より出版しました。第1版は2007年11月、第2版は2012年5月でした。脳卒中片麻痺の歩行に多く用いられている装具は種類が多く、短下肢装具だけでも約50種類もあり選択が難しいとされています。それは脳卒中の病態が多彩であり、回復の予後予測も単純にいかないことにもよると思います。

本著では図と表を豊富に入れ、初心者にも理解しやすい様に装具選択の考え方なども解説しています。今回はオールカラー版となり、装具の写真も見やすくなっています。また脳卒中の歩行訓練を担当する理学療法士139名からの疑問に対する著者の回答も掲載しています。発行後約5か月で1,160部の販売実績だと聞いています。

最後に、この書が脳卒中片麻痺患者の治療や生活に役立てば幸いです。



◎サマーコンサートの開催

演奏：有明高等学校吹奏楽部

平成28年8月5日、当院外来薬局前にて有明高等学校吹奏楽部を迎えてサマーコンサートを開催しました。当日は蒸し暑く楽器を準備するだけでも汗だくでした。総勢20名の部員及び引率の先生方が来られ15時から開始しました。当初、外来での吹奏楽コンサートは行ったことが無く、音が大きすぎるかと思われましたが、逆に迫力があり素晴らしい演奏となりました。当院には有明高等学校の卒業生も多く、職員も懐かしい思いで患者さんと一緒に楽しい時間を過ごす事が出来ました。

- 1曲目. BOOM (九州新幹線CMソング)
- 2曲目. 炭坑節
- 3曲目. 日本の夏メドレー
(海、茶摘み、ホテル、雨降り、七夕)
- 4曲目. 坂本九メドレー
(上を向いて歩こう、あしたがあるさ)



◎「おおむた『大蛇山』まつり 一万人の総踊り」に参加

今年も炎天下の中、大牟田夏祭り総踊りが盛大に開催されました。当院からも72人が参加し、元気に踊ってきました。残念ながら、優秀賞に輝くことはできませんでしたが、踊りのほかにプラカードを持ったり、台車を押したりと多くの裏方作業も役割分担で万全の体制を整えました。それでも、出発前に食べる為に用意していた軽食が届かなかったなどのハプニングはありましたが、来年も一緒に盛り上げられるように取り組んでいきますのでどうぞ、宜しくお願いします。

